

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

高齢者の地方移住に求められる政策 小峰 隆夫 (法政大学大学院教授)

1. 日本創生会議 (代表増田寛也) は、今後、東京圏で急速に高齢化が進むことにより、介護施設の不足などの大問題が発生することを示し、その解決策として高齢者の地方移住を提案している。今後、国からも地域からも高齢者の移住を促進するための政策が次々に打ち出されることになるだろう。このとき考えなければならないのが「補完性」の考え方だ。補完性は、ある分野がほかの分野と相互に影響し合いながら、相互依存的に存在している状態を指す。
2. たとえば、次のようなことが考えられる。第一は、雇用の固定性だ。日本型雇用慣行の下では、多くの人が最初に入った企業で働き続けるひとが多く、労働力の流動性に乏しい。仮に地方に魅力的な仕事があっても、柔軟に勤務先を替えることが難しくなり、結果的に移住を阻害する。第二に、住宅だ。日本では一生のどこかの段階で自分の家を持ち、その後は死ぬまでその家に住み続けようとする。
3. 第三は、農地保有だ。たとえば、サラリーマン生活を終えた人で「今後は好きな農業をやりたい」と考えても農地はまず購入できない。最後は地方自治体の負担だ。国民健康保険や介護保険の場合、地元負担があるため、医療費がかかる高齢者や重度の要介護者が増えると、地元自治体の持ち出し分が増えてしまう。以上述べてきたように、労働力の流動性を高め、住宅の住み替えを促進し、農地の流動性を高め、社会保障負担の地域差をなくしていく。これらが求められる政策である。(参考:「致知」2015年10月号)

経営者のための経済学

24年連続世界一 (対外純資産)

1. 世界経済に占めるわが国の経済規模が年々低下する中、日本が依然として世界第1位を保っている経済指標がある。対外純資産の金額だ。これは、自国の政府・企業・国民が海外に保有する資産 (対外資産) から外国が自国に保有する資産を差し引いたもので、日本が海外に持っている「正味の資産」を表す。
2. 財務省が5月22日に行った発表によると、日本の対外純資産残高は、2014年度末時点で366兆8560億円。円安の影響もあり、前年末から12.6%と大幅に増加して3年連続で過去最高となった。統計が整備された1991年以降、24年連続で世界第1位を記録し、第2位が中国 (214兆3063億円) を大きく上回る。「正味の収益」は所得収支と呼ばれ、2014年は18兆円を超えGDPの4%近い規模に上った。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2015年6月13日号)

経営者のための理念・哲学

経営の指針となる武士道精神

1. 創業から108年の歴史を持つ住友大阪セメントの関根福一社長は、武士道に注目している経営者の一人だ。10代で入手した「葉隠」は、40年以上経った今も手放さない。「何十回と読み返したことか。武士道の文庫本は必ず出張時に持っていく。これまでの人生で、武士道精神が幾度となく自分を支え、窮地を救ってくれた」と、同社長は語る。武士道で培って関根氏の胆力は組織の中で評判になっていた。
2. 新渡戸稲造は惻隠の心をこう表現している。「愛情や寛容、他者への情愛、同情はつねに最高の徳」。つまりは人間の魂に備わったあらゆる性質の中でもっとも高いものとして認められてきた。関根社長は言う。「日本では企業活動をする上で、目に見えないものをとって大事にしてきた、他者へのいたわりや倫理観、社会貢献への強い意識、あるいは拝金主義に対する罪悪感などだ」。私もかくありたいと思いながら日々を送っている。

(参考:「日経ビジネス」2015年7月20日号)

古典に学ぶ

私たちの道徳の歩む道

(解説) 武士道を生み育てた社会条件はすでに消えはてて久しい。しかし、昔はあったが今はもう存在しない遥かな星々が、今なお私たちにその光を投げつづけているのと同様に封建制の子である武士道はその母なる制度より生きのびて、今なお私たちの道徳の歩む道を照らしている。

(参考:佐藤金弘訳新渡戸稲造「武士道」:教文館)